

製品名: PI 3-キナーゼ p85 β ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16104**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	85kDa

抗原情報

遺伝子名	PIK3R2 PIK3R2; Phosphatidylinositol 3-kinase regulatory subunit beta; PI3-kinase regulatory subunit
別名	beta; PI3K regulatory subunit beta; PtdIns-3-kinase regulatory subunit beta; Phosphatidylinositol 3-kinase 85 kDa regulatory subunit beta; PI3-kinase
遺伝子 ID	5296.0
SwissProt ID	O00459
免疫原	抗血清はヒト PI3 キナーゼ p85beta 由来の合成ペプチドに対して産生された。アミノ酸範囲: 409-458

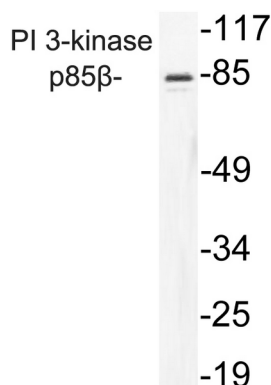
背景

ホスファチジルイノシトール3キナーゼ (PI3K) は、ホスファチジルイノシトールおよび類似化合物をリン酸化して、成長シグナル伝達経路において重要なセカンドメッセンジャーを生成する脂質キナーゼです。PI3Kは、調節サブユニットと触媒サブユニットのヘテロ二量体として機能します。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、PI3Kの調節成分です。この遺伝子には、タンパク質をコードするものとタンパク質をコードしないものの2つの転写バリエーションが見つかっています。[RefSeq提供、2012年12月],機能:SH2ドメインを介して活性化(リン酸化)タンパク質チロシンキナーゼに結合し、アダプターとして機能してp110触媒ユニットの細胞膜への結合を媒介します。、類似性:PI3K p85サブユニットファミリーに属します。、類似性:1つのRho-GAPドメインを含みません。、類似性:1つのSH3ドメインを含みません。、類似性:2つのSH2ドメインを含みません。、サブユニット:p110(触媒)サブユニットとp85(調節)サブユニットのヘテロダイマー。、

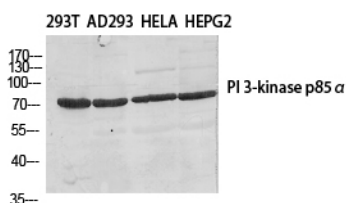
研究分野

血管新生を制御する; 微小管の制御; アクチンダイナミクスの制御; SAPK_JNK; 幹細胞経路; インスリン受容体; ErbB/HER; AMPK; mTOR; B細胞受容体; 接着結合

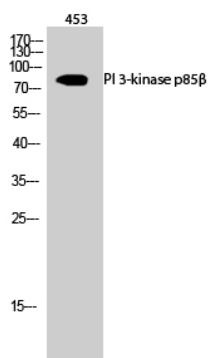
画像データ



PI 3-キナーゼ p85β抗体を使用した、Jurkat細胞の溶解液のウェスタンブロット分析。



PI 3-キナーゼ p85βポリクローナル抗体 (1: 500希釈) を用いた各種細胞のウェスタンブロット解析



PI 3-キナーゼ p85βポリクローナル抗体 (1: 500希釈) を用いた453細胞のウェスタンブロット解析

